



津幡町防災総合訓練

1. 概要・目的など

地震、水害等による自然災害に際し、地域住民や関係機関が一致協力し、自助・共助・公助が互いに連携し一体となった訓練を行うことにより、「自分たちの地域は自分たちで守る」という認識をもち、「災害に強いまちづくり」の推進を目的とするとともに、防災体制の確立、防災意識の高揚を図ります。

2. 開催日時・日程

令和5年8月27日(日)

午前7時00分から9時00分

3. 場所

あがた公園、津幡町立太白台小学校

4. 出席者

津幡町職員、津幡町議会議員、津幡町消防本部職員、津幡町各地区自主防災クラブ員、津幡町消防団員、関係機関(河北郡市医師会、石川県警察津幡警察署、津幡土木事務所、津幡町赤十字奉仕団、津幡町社会福祉協議会、津幡町民生児童委員協議会、津幡町ボランティア連絡会、西日本電信電話株式会社北陸支店、(一財)北陸電気保安協会、河北郡市土建協同組合、生活協同組合コープいしかわ)

5. その他(注意事項など)

令和5年度(第26回)

津幡町防災総合訓練実施要領

津 幡 町

令和5年度(第26回)津幡町防災総合訓練実施要領

1. 目 的

本年5月5日に石川県能登地方を震源とする震度6強の地震が発生し、珠洲市を中心に多大な被害が発生しました。これまでの地震活動及び地殻変動の状況を踏まえると一連の地震活動は当分続くと考えられます。

そのほか県内では、森本・富樫断層帯の長期評価が改訂され今後30年に地震の発生する確率が上がり、地震に対する備えのさらなる強化充実が求められています。

津幡町防災総合訓練は、地震、水害等による自然災害に際し、発生初動時においては地域住民が一致協力して対応すべき訓練を行うことにより、「自分たちの地域は自分たちで守る」という認識をもち、「災害に強いまちづくり」を推進していくことを目的とします。

2. 日 時 令和5年8月27日(日) 午前7時00分～

3. 場 所 あがた公園及び太白台小学校

4. 主 催 津幡町

5. 参加機関

津幡町、津幡町教育委員会、津幡町消防本部、河北中央病院、津幡町消防団、津幡町自主防災クラブ連絡協議会（津幡中央地区自主防災クラブ、中条地区自主防災クラブ、井上地区自主防災クラブ、笠井地区自主防災クラブ、笠野地区自主防災クラブ、英田地区自主防災クラブ、河合谷地区自主防災クラブ、刈安地区自主防災クラブ、萩坂地区自主防災クラブ）、河北郡市医師会、石川県警察津幡警察署、津幡土木事務所、津幡町赤十字奉仕団、津幡町社会福祉協議会、津幡町民生児童委員協議会、津幡町ボランティア連絡会、西日本電信電話株式会社北陸支店、(一財)北陸電気保安協会、河北郡市土建協同組合、生活協同組合コープいしかわ

(協力団体)

石川かほく農業協同組合

6. 訓練本部の構成

本部長	町長
副本部長	副町長（英田地区現地対策本部長）、消防団長
本部長付	教育長
本部長員	本部事務局長（総務部長）、総務対策部長（総務課長が代行）、町民生活対策部長（町民生活部長）、健康福祉対策部長（健康福祉部長）、産業建設対策部長（産業建設部長）、教育対策部長（教育部長）、消防対策部長（消防長）、河北中央病院事務長、会計管理者、消防副団長

7. 訓練想定

令和5年8月27日（日）午前6時50分、津幡町から金沢市中心部に至る森本断層を震源とする地震が発生し、震源地に近い津幡町では震度6強を観測した。この地震により倒壊家屋からの火災発生、ガス・水道施設の破壊、道路・橋梁の損壊、能瀬川堤防の決壊の恐れ、交通・通信網の混乱等の被害が発生した。また多数の死傷者が発生している模様である。

この地震により甚大な被害を受けた英田地区では、英田地区自主防災クラブ長が同日午前7時に津幡町役場に被害状況の報告を行い、応援要請等を行った。

津幡町長は、報告を受けると直ちに石川県に対して「災害救援出動」を要請するとともに役場内に「災害対策本部」を設置した。また、被害の甚大な英田地区（津幡町宇加茂地内）に「現地災害対策本部」を設置し、副本部長の副町長を「現地災害対策本部長」として、現地へ派遣した。

その後、災害対策本部長の津幡町長は、被害状況等の把握のため、英田地区の巡視を行った。

また、この地震の影響により、能瀬地内能瀬川右岸堤防の天端が陥没し、決壊する恐れが発生した。

令和5年度津幡町防災総合訓練 訓練種目及び担当

訓練会場	訓練種目	部名	担当
役場	災害対策本部設置訓練（参集訓練）	全庁	災害対策本部員
あがた公園	通信訓練 (防災行政無線・災害応援協定締結町)	総務 教育 健福	災害対策本部、総務課（現地災害対策本部）、学校教育課、生涯教育課、子育て支援課、小中学校、公民館、保育園、認定こども園、放課後児童クラブ
	避難誘導訓練	総務	各地区自主防災クラブ、津幡警察署、災害対策本部、企画課
	被害状況調査・映像伝送訓練	消防	災害対策本部、消防本部
	給水訓練	産業 建設	上下水道課
	炊き出し訓練	産業 建設	町赤十字奉仕団、各地区自主防災クラブ、産業振興課
	水防訓練	産建 消防	都市建設課、消防本部、消防団、河北郡市土建協同組合、津幡土木事務所
	緊急物資輸送・受入訓練	総務	監理課、各地区自主防災クラブ、生活協同組合コープいしかわ
	救護体験	消防	各地区自主防災クラブ、消防本部、女性消防団
	濃煙通過体験	〃	各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団、女性消防団
	初期消火訓練(消火器、天ぷら油火災)	〃	各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団、女性消防団
	仮設トイレ設置訓練	町民 生活	生活環境課
	下水道災害復旧訓練	産業 建設	上下水道課
	土のう作成訓練	消防	各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
	小型動力ポンプ放水訓練	消防	津幡、中条、英田、萩坂地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
	火災防ぎょ訓練	〃	消防本部、消防団
	救出訓練	〃	津幡、中条、井上、英田地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
	応急救護所開設訓練	健福 消防	河北郡市医師会、河北中央病院、健康推進課、消防本部、役場職員（模擬患者）
	救助訓練	消防	消防本部、県航空隊
	災害用伝言ダイヤル体験		西日本電信電話株式会社北陸支店
災害時分電盤操作体験		一般財団法人北陸電気保安協会	
防災展示	総務	総務課、都市建設課	
太白台小学校	避難所設置・運営訓練	教育 町生 健福	笠井地区自主防災クラブ（模擬避難者）、教育総務課、学校教育課、生涯教育課、町民課、税務課、福祉課、子育て支援課
	避難所巡回・健康相談訓練	健福	健康推進課
	災害ボランティア現地本部運営設置受入訓練	〃	町赤十字奉仕団、町社会福祉協議会、町民生児童委員協議会、町ボランティア連絡会、福祉課
全会場	災害記録訓練	総務	企画課
その他	巡視員対応（随行）	〃	議会事務局

訓練種目別時間進行表(案)

訓練名	時間帯						実施機関
	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	
災害対策本部設置訓練 (参集訓練)	← 6:40 → 7:00						災害対策本部員
通信訓練(防災行政無線・ 災害応援協定締結町)	← 7:00 → 8:00						災害対策本部、総務課(現地災害対策本部)、学校教育課、生涯教育課、子育て支援課、小中学校、公民館、保育園、認定こども園、放課後児童クラブ
避難誘導訓練	← 7:00 → 7:20						各地区自主防災クラブ、津幡警察署、災害対策本部、企画課
被害状況調査・映像伝送 訓練	← 7:00 → 7:50						災害対策本部・消防本部
避難所設置・運営訓練 避難所巡回・健康相談訓練	← 7:00 → 8:00						笠井地区自主防災クラブ(模擬避難者)、教育総務課、学校教育課、生涯教育課、町民課、税務課、福祉課、子育て支援課、健康推進課
給水訓練	← 7:10 → 7:40						上下水道課
炊き出し訓練		← 7:20 → 8:40					町赤十字奉仕団、各地区自主防災クラブ、産業振興課
水防訓練		← 7:30 → 7:45					都市建設課、消防本部、消防団、河北郡市土建協同組合、津幡土木事務所
災害ボランティア現地本部 運営設置受入訓練		← 7:30 → 8:30					町赤十字奉仕団、町社会福祉協議会、町民生児童委員協議会、町ボランティア連絡会、福祉課
緊急物資輸送・受入訓練		← 7:30 → 8:00					監理課、各地区自主防災クラブ、生活協同組合コープいしかわ
救護体験		← 7:40 → 8:20					各地区自主防災クラブ、消防本部、女性消防団
濃煙通過体験		← 7:40 → 8:20					各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団、女性消防団
初期消火訓練 【消火器】 【天ぷら油火災】		← 7:40 → 8:20					各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団、女性消防団
仮設トイレ設置訓練		← 7:40 → 8:15					生活環境課
下水道災害復旧訓練		← 7:50 → 8:40					上下水道課
土のう作成訓練		← 7:50 → 8:20					各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
小型動力ポンプ放水訓練		← 8:00 → 8:15					津幡、中条、英田、萩坂地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
火災防ぎょ訓練		← 8:00 → 8:15					消防本部、消防団
救出訓練		← 8:10 → 8:30					津幡、中条、井上、英田地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
応急救護所開設訓練		← 8:15 → 8:40					河北郡市医師会、河北中央病院、健康推進課、消防本部、役場職員(模擬患者)
救助訓練			← 8:30 → 9:00				消防本部、県航空隊
災害用伝言ダイヤル体験 災害時分電盤操作体験 防災展示		← 7:30 → 9:00					西日本電信電話株式会社北陸支店 一般財団法人北陸電気保安協会
閉会式(訓練講評)					← 9:05 → 9:15		参加者全員

訓練種目別実施要領

時間	訓練種目	状況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
6:40 ～ 7:00	災害対策本部 設置訓練 (参集訓練)	震度6強の地震 発生に伴い、町災 害対策本部を設置 する。	町は、震度6強の強い揺れに 伴い、相当の被害の発生が予測 されることから、町災害対策本 部を設置する。 職員の参集状況を把握する とともに、被害状況等の確認及 び被害が甚大な英田地区の支 援のため、あがた公園での現地 災害対策本部の設置を指示す る。	災害対策本部員		防災行政無線等
7:00 ～ 8:00	通信訓練(防災 行政無線・災害 応援協定締結 町)	地震の情報に関 し、住民に対して 落ち着いて行動す るよう呼びかけ る。 地震の影響は加賀 地方全域に及んで いる。	地震発生後、震度の情報を伝 達するとともに、避難に関する 指示を住民に呼びかける。(音 声合成装置により事前に文面 を準備) 学校教育班は、防災行政無線 などあらゆる通信手段を利用 し、町内小中学校の児童生徒及 び職員等の安否確認や施設の 被災状況の確認を行う。また、 地域住民の学校への避難状況 を確認し、関係機関へ報告す る。 生涯教育班は、防災行政無線 などあらゆる通信手段を利用 し、町内の生涯教育施設(文化 会館・公民館・体育施設等)の 利用者や職員等の安否確認や 施設の被災状況の確認を行う。 子育て支援班は、防災行政無 線(携帯機)などあらゆる通信 手段を利用し、町内保育施設の 園児及び職員の安否確認、被災 情報等を収集する。 災害対策本部は、被害状況を 踏まえ近隣市町からの支援が 難しいため、災害時相互応援協 定を締結している中能登町、福 岡県岡垣町、和歌山県上富田町 に物資の提供を依頼する。	災害対策本部 総務課(現地災 害対策本部) 学校教育課 町内小中学校 生涯教育課 公民館等 子育て支援課 町立保育園 認定こども園等 放課後児童クラブ 災害対策本部 総務課(現地災 害対策本部)	2 2 11 6 9 10 4 7 16 2	防災行政無線 衛星携帯電話
7:00 ～ 7:20	避難誘導訓練	地震が収まると 地域住民は、各集 落内の所定の場所 に集結し、人員確 認後、避難場所 であるあがた公園に 避難を開始した。	地域住民は各地点にて待機。 防災行政無線拡声放送の内容 を受け、各地区自主防災クラ ブ長を中心に避難経路ごとに避 難を開始する。避難誘導班員 は、歩行による避難者に対し、 安全な避難路を伝え、避難場所 であるあがた公園に隊列を組 んで避難するよう伝える。地区 自主防災クラブ長は自主防災 クラブ連絡協議会長に参集報 告を行い、自主防災クラブ連絡 協議会長は避難人数を取りま とめ現地災害対策本部長に報 告する。 津幡警察署は、避難住民の安 全を確保するため、主要交差点 において交通規制を行うほか、 避難により空き家となる家屋 が多数みられるため、付近の防 犯パトロールを実施する。	津幡自主防 井上自主防 中条自主防 英田自主防 笠井自主防 笠野自主防 河合谷自主防 刈安自主防 萩坂自主防 企画課 津幡警察署	50 50 50 50 15 15 15 15 15 6 2	避難誘導旗 ヘルメット 電子メガホン その他必要品

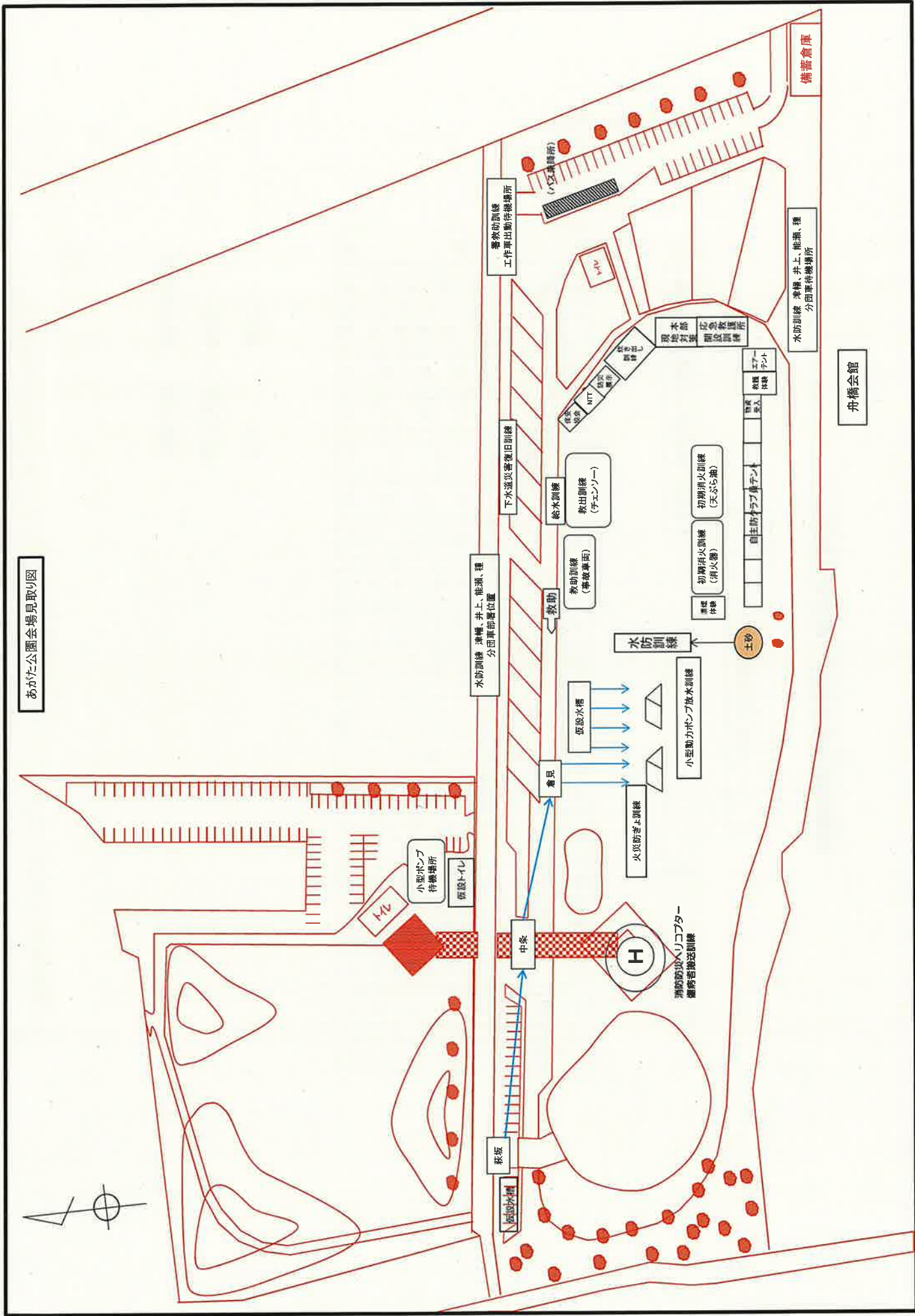
時間	訓練種目	状況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
7:00 ～ 7:50	被害状況調査・映像伝送訓練	災害発生に伴い、崖の崩落により道路が寸断され、孤立している地区が発生	ドローンを使用し、現地災害対策本部等へ上空からの映像を配信	災害対策本部 消防本部	2 2	■現地側 ドローン 1式 PC 1式 (Internet環境) 発電機 ■現地対策本部側 PC 1式 (Internet環境) TVモニター1台
7:00 ～ 8:00	避難所設置・運営訓練 避難所巡回・健康相談訓練	大規模地震により建物が多数倒壊し、生活の拠点を失った地域住民の避難が必要となった。	教育総務班・学校教育班・生涯教育班、町民班・税務班・福祉班・子育て支援班は、避難所である太白台小学校を避難施設として開設・運営、避難者の誘導、安全確保を行う。 町民班・税務班・福祉班は避難者の受付と誘導を行う。 福祉班・子育て支援班、教育総務班・学校教育班・生涯教育班は避難所内に段ボールベッド等の設営を行う。 教育総務班・学校教育班は、防災行政無線を使用し、災害対策本部に避難人数及び状況を報告する。 福祉班(保健師除く)は、避難所のルールや注意事項を避難者に周知する。保健師は、避難者の健康相談を行う。 各地区自主防災クラブ員は、避難所の開設・設営及び模擬避難者として、避難時の運営を体験する。	教育総務課 学校教育課 生涯教育課 町民課 税務課 福祉課 子育て支援課 健康推進課 模擬避難者 笠井自主防	3 2 1 8 5 1 7 15	筆記用具 1式 避難者名簿等 1式 防災行政無線 (半固定機又は 携帯機) 段ボール間仕切り(1.8m×2m) 25枚 段ボール間仕切り(1.5m×2m) 25枚 段ボールベット 1台 ワンタッチパーテーション 12張 受付用机 5台 受付用椅子8脚 マスク 1式 内履き(スリッパ)1式 消毒液 1式 非接触型体温計4台 車いす 2台 会場 太白台小学校
7:10 ～ 7:40	給水訓練	地震により能瀬地区において配水管破損による断水被害が発生した。	被害発生により上下水道班は、避難場所であるあがた公園において臨時給水所を設置し、避難した住民への臨時給水を行う。	上下水道課	6	2tトラック 1台 軽トラック 1台 車載給水タンク1台 組立給水タンク1台 応急給水栓 1基 看板 1枚 机 1脚 ポリタンク 15個 給水袋 100枚
7:20 ～ 8:40	炊き出し訓練	地震により建物等が損壊し、自炊能力が無くなり避難者の食料確保が必要となる。	町赤十字奉仕団、町社会福祉協議会、各地区自主防災クラブ及び産業振興班は、災害対策本部から支給されたアルファ米の炊き出しを実施する。	町赤十字奉仕団 各地区自主防 産業振興課	10 各1 9	テント 2張 炊飯 1式 大鍋 2台 机 8脚 アルファ米 400食 ひしゃく 2本 バケツ 2個 黒マジック2本 ガムテープ2個 コピー用紙 ナイロン袋
7:30 ～ 7:45	水防訓練	地震の発生により能瀬地内能瀬川左岸堤防の天端が陥没し決壊する恐れが発生した。	出動命令を受けた消防団員は、現場到着後、水防本部長の命令により水防活動を開始する。応援要請を受けた町(都市建設課)も消防団と連携し作業(積土の工法)にあたる。 ※消防団員は救命胴衣を装着し、安全管理を図る。	消防団本部 (副団長) 津幡分団 井上分団 能瀬分団 種分団 消防本部 河北都市土建協同組合 津幡土木事務所 都市建設課	1 5 5 5 5 2 5 1 10	ダンブ 1台 土のう袋 200枚 水防資機材 1式 土砂 3m ³ 鋼杭 80本 掛矢 5丁 スコップ 15丁 一輪車 5台

時間	訓練種目	状況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
7:30 ～ 8:30	災害ボランティア現地本部運営設置受入訓練	地震発生に伴い甚大な被害を受けた津幡町の復興のため、多くのボランティアの協力が必要となる。	津幡町は、町社会福祉協議会に災害ボランティアセンターの設置を要請した。 町社会福祉協議会は、町民生児童委員協議会、町ボランティア連絡会、町赤十字奉仕団の協力のもと、災害ボランティアセンターを設置し運営する。	町社会福祉協議会 町民生児童委員協議会 町ボランティア連絡会 町赤十字奉仕団 福祉課	15 8 5 5 6	長机 6台 椅子 10脚 机付ボード 3台 筆記用具 1式 会場 太白台小学校
7:30 ～ 8:00	緊急物資輸送・受入訓練	地震発生に伴い、多くの住民が食料等の援助を求めている。	災害対策本部長の要請により、監理班に緊急物資調達を指示。(指示は防災行政無線を使用する。) 監理班はあがた公園備蓄倉庫から物資(カンパン・飲料水)を搬入する。各地区自主防災クラブ員は避難の人数分の緊急物資を受入れる。	監理課 各地区自主防災生活協同組合 コープいしかわ	8 各2 1	防災行政無線(車載機) 車両 2台 カンパン 14箱 飲料 14ケース 机 1台 コンパネ 3枚
7:40 ～ 8:20	救護体験	各地区自主防災クラブ員は、救護体験として心肺蘇生法及びAEDの使用方法を体験学習する。	自主防災クラブ員を対象に応急手当についての講習・実技指導を実施する。 ・心肺蘇生法 ・AED	津幡中央自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠野自主防 刈安自主防 萩坂自主防 河合谷自主防 女性消防団員 消防本部	2 2 2 2 1 1 1 1 1 3 1	訓練用半身人形 3体 AEDトレーナー 3基 ハイディスク 1箱 ロス 1箱 電子メガホン 1基 ブルーシート 1枚 消毒用エタノール 2個 説明用パネル P P ロープ テント 1張 (※テントリース) (雨天時追加資機材) 机 3台
7:40 ～ 8:20	濃煙通過体験	地震により発生した建物火災で充満している煙の中から屋外へ避難	煙の充満したテントの中を通過し、煙の恐さを体験	津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠野自主防 刈安自主防 河合谷自主防 笠谷分団 女性消防団 消防本部	11 11 12 11 3 3 3 1 2 1	濃煙体験テント 1 スモークマシン 1式 スモーク液 2本 ドラムコード 3個 ナイフ袋 200枚
7:40 ～ 8:20	初期消火訓練 ・消火器 ・天ぷら油火災	(消火器) 地震により、火災が発生した。 (天ぷら油火災) 地震発生によりガスコンロにかけてあった、てんぷら油が発火した。	(消火器) 水消火器を使用し標的に注水し、使用方法を習得する。 (天ぷら油火災) てんぷら鍋内の油に点火し、濡れシート等を用いて消火し、ガスの元栓を閉じる。	消防本部 津幡自主防 中条自主防 井上自主防 笠野自主防 英田自主防 萩坂自主防 刈安自主防 河合谷自主防 河合谷分団 女性消防団	2 20 20 24 4 20 2 4 4 5 1	初期消火 1式 ガスボンベ 2本 水消火器 50本 模擬消火装置 1～2 ガスコンロ 2式 石膏ボード 2枚 天ぷら鍋 2個 点火棒 1本 ガソリン 適量 灯油 適量 シート 10枚 机 2台 バケツ 2個
7:40 ～ 8:15	仮設トイレ設置訓練	下水道施設の破損により、避難所のトイレが使用できないため、仮設のトイレを設置する。	生活環境班は避難場所となったあがた公園に簡易トイレの設置を行う。	生活環境課	5	簡易トイレ スツール型 4基 マンホール型 1基

時間	訓練種目	状況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
7:50 ～ 8:40	下水道災害復旧訓練	地震により能瀬地区において下水道管渠が破損した疑いがある。	汚水管の被害状況を把握するため、自走式テレビカメラで管渠等の目視による点検を合わせて行う。	上下水道課	4	ライトバン 1台 机 1脚 椅子 1脚 矢印板 2個 カラーコーン 3個 カラーバー 2本 カメラ調査車 1台 マンホールキー2本 案内用パッド 1組 無線機 2台
7:50 ～ 8:20	土のう作成訓練	地震の発生により能瀬地内能瀬川左岸堤防の天端が陥没し、決壊する恐れが発生	土嚢の作成(適切な量の砂を補充、結び方)を体験	津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠野自主防 刈安自主防 萩坂自主防 河合谷自主防 津幡分団 井上分団 消防本部	4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 5 2	ダンブ 1台 土のう袋 200枚 水防資機材 1式 土砂 3㎡ 鋼杭 80本 掛矢 5丁 スコップ 15丁 一輪車 5台
8:00 ～ 8:15	小型動力ポンプ放水訓練	地震により建物火災が発生し、延焼拡大する恐れがある。	各地区自主防災クラブ長は小型ポンプによる消火を消火班長へ指示する。 消火班長は消火班員とともに小型ポンプを水槽横に設置し、吸水とともにホース1本を延長し放水、出火建物の消火にあたる。 (各クラブ担当内訳) 吸水、ポンプ操作 2名 ホース延長、放水 2名 伝令 1名	津幡自主防 中条自主防 英田自主防 萩坂自主防 消防本部 俱利伽羅分団	5 5 5 5 3 5	自主防災クラブ 小型ポンプ 吸管 ホース 管そう 消防本部 模擬家屋 1棟 発煙筒 2本 水槽(大) 1基 メガホン
8:00 ～ 8:15	火災防ぎょ訓練	地震により倒壊した家屋から火災が発生し延焼拡大している。また、地震により消火栓が使用不能のため消防団に出動を要請。	舟橋川右岸に待機していた消防団は、副団長の指示で防火水槽から吸水し、2分団で中継送水し2線放水を実施する。 ※自主防4クラブとの同時放水(小型動力ポンプ放水訓練)	消防団本部 倉見分団 中条分団 萩坂分団 消防本部	1 5 5 5 3	分団車両 3台 各分団 消防ホース適宜 筒先 2本 赤旗 1本 車両表示杭 模擬ハウス 発煙筒
8:10 ～ 8:30	救出訓練	地震により住宅が倒壊し、建材等に挟まれるなどして負傷者が発生	(チェーンソー取扱) クラブ員はクラブ長・救出救護班長の指示により、持参したチェーンソーを使用し、模擬倒壊家屋の柱(角材)を切断し取扱を習得	津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠谷分団 消防本部	5 5 5 5 4 1	各自主防 チェーンソー 1 ゴーグル 20 角材 適量 ブルーシート 2 ※角材切断用 チャップス 4
8:15 ～ 8:40	応急救護所開設訓練	地震により負傷者が発生し、避難場所へ搬送されてくる。	消防本部及び健康推進班は応急救護所を開設する。町は河北郡市医師会に、医師、看護師の派遣を要請する。派遣された医師・看護師(河北中央病院医師・看護師含む)は、模擬負傷者(負傷した状況やバイタルを記載したカード)のトリアージを行う。健康推進班は、トリアージされた負傷者の情報、搬送状況、医療資機材の情報管理を行う。	消防本部 河北郡市医師会 河北中央病院 医師 看護師 健康推進課 負傷者	1 2 1 3 8 11	テント 1式 机 3台 ボード 1台 トリアージシート 1式 負傷者カード10 医療資機材写真 情報管理表 筆記用具 手指消毒

時間	訓練種目	状況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
8:30 ～ 8:50	救助訓練	地震によりハンドル操作を誤り車両がガードレールに衝突。車両内に閉じ込められた要救助者を救出	ガードレールに衝突した車両の安全を確認後、車両後部の窓を破壊し隊員1名が進入して運転手の要救助者(人形)に接触。 要救助者の足が挟まれているため、運転席ドア開放し、ブレーキペダル切断。フロントガラス破壊後にAピラー及びBピラーを切断し車両後方へ屋根を開放救出。	消防本部(救助隊)	6	救助資機材一式 車両固定器具 ポンチ 毛布 スプレッダー カッター バー ペダルカッター トップマントビ グラスカッター タイタン 救急資機材一式 酸素バッグ ネックカラー バックボード 廃車車両 1 ブルーシート5 コンパネ 10 人形 1
8:50 ～ 9:00	消防防災ヘリコプター傷病者搬送訓練	署救助隊により救出された傷病者1名を三次医療機関へ緊急搬送するため、県に対し消防防災ヘリコプターの出動を要請	傷病者搬送の依頼を受け消防防災ヘリコプターが出動。航空隊員が降下し、傷病者1名(訓練人形)をピックアップ後に病院へ搬送	石川県消防防災航空隊 消防本部(警戒員)	4 6	津幡指揮101 携帯無線1(警戒員) トランシーバー4 訓練人形(航空隊) 救助資機材(航空隊)
7:30 ～ 9:00	災害用伝言ダイヤル体験	地震の発生により、被災地への通信が増加したため、輻輳により安否確認がしにくい状況となった。	NTT西日本北陸支店は、輻輳により通信が途絶えた被災地の安否情報等の確保のため、避難所となったあがた公園に衛星通信機器を導入し、被災地の通信を確保する。 (大規模災害時の家族の安否を確認する時に有効な手段として設定される災害用伝言ダイヤル「171」を体験することにより、災害時の安否確認の方法を学習する。)	西日本電信電話株式会社北陸支店		テント 1張 机 3脚 イス 6脚 ドラムコード
7:30 ～ 9:00	災害時分電盤操作体験		模擬分電盤による災害時の操作方法について体験する。 (震災時の通電火災防止) 過去の地震、水害についてのパネル展示、パンフレットの配布	一般財団法人北陸電気保安協会		テント 1張 机 2脚 イス 4脚
7:30 ～ 9:00	防災展示		住宅耐震についての相談会、防災用品の展示を行う。	都市建設課	2	テント 1張 机 1脚 イス 2脚 展示ボード2枚

あがた公園会場見取り図



津幡町防災総合訓練 閉会式 (配列)

現地災害対策本部テント

来 賓

マイク

本部長・副本部長・本部長付・本部長へ

◎ 指揮者 (消防本部)

- 津幡町
- 津幡町教育委員会
- 石川県警察津幡警察署
- 津幡土木事務所
- 津幡町消防本部
- 津幡町消防団
- 河北郡市医師会
- 津幡中央地区自主防災クラブ
- 中条地区自主防災クラブ
- 井上地区自主防災クラブ
- 笠野地区自主防災クラブ
- 英田地区自主防災クラブ
- 河合谷地区自主防災クラブ
- 刈安地区自主防災クラブ
- 萩坂地区自主防災クラブ
- 津幡町赤十字奉仕団
- 河北郡市土建協同組合
- N T T 西日本北陸支店
- 北陸電気保安協会
- 生活協同組合ニールいしかわ

- 町長 講評
- 議長 挨拶
- 消防団長 閉会の挨拶